

モールス講習会で得たもの、感じたもの

佐々木 朗JH8CBH 北海道函館市

令和4年1月から3月末日までZOOMを使って、モールス講習会を行いました。

1 はじめに

『いくら速いスピードでも大丈夫。』こんなことを言えるのは、やはり子どもの時にモールスを叩き込まれたからに違いない。パイルになっても一局をピックアップできるというスキルもそうであろう。

点と棒の世界。何がそんなに魅力なのか。一言では言い表せないほど深い楽しみがある。かすかな信号でもコールサインが取れた時の喜びは、経験したものだけが味わえる快感である。国際的にもほぼアマチュア無線にだけ残っているモールスの文化。通信の原点でもあるその魅力的なモールスの世界を、人に語り、人に伝えていくことが私のライフワークだと思っている。

2 そうだZOOMがある

そんな思いで、普段からモールスを楽しんでいる私は、その楽しさを教えることも私の楽しみの一つであった。モールスは、一日の講習会で習得するなどありえない。毎日の積み重ねと努力があつてこそ習得できるものである。

私は、人にモールスを教えるおせっかいさんをもう40年近くつづけている。どうやって教えたか、それは144MHz帯のFM波を使ってであった。家にいることが多い冬期、毎日決められた時刻(だいたい午後8時から)、一日 30 分ぐらいずつ

2、3週間かけて、符号を教え、ゆっくりとしたスピードでの受信ができる講習会を開いた。2、3週間ではギリギリなので、その昔は、みんなカセットテープに録音して、復習をしていた。

転勤先でもこの 144MHz 帯を使つての講習会は続いた。四アマ取得者は、1分間25文字の受信に合格するだけで、三アマを取得できるおいしい時代は、受講者もかなり多かった。

時は流れ、三アマから電気通信術が消え、やがて二アマ、一アマからも消え、モールス符号を形だけ覚えるということで、CWを目指す方が少なくなってきた。ここ数年、地元でこの講習会を続けたが、数人の参加にとどまった。

そんな時、不幸にもコロナ感染対策から、テレビ会議が注目されるようになった。私はひらめいた。「これって、講習に使えるのではないか。」私は早速計画を立て

渡島 檜山

モールス講習会(初級・中級)

今年のモールス講習会は、ZOOMを使い、支部会員はもちろん、支部会員以外の全国の皆さんの参加も広く受け付けます。

対象 ○初級：JARL会員でモールス符号を覚えようという意思のあるもの。0からスタートしようとする方
○中級：JARL会員で受信はできるが、実際に発信する技能を身に付けたいもの

日時 1月11日～3月31日までの毎日20：00～20：30まで(前半初級、後半中級)

方法 2mFMまたはZOOMを使つての受講

講師 佐々木朗(第一級アマチュア無線技士・JH8CBH)

申込先 JM80TS 松平真一(jm80ts@jarl.com)あて

JARL NEWS 2021 年冬号

た。そして、メールやJARL NEWSなどで参加を呼びかけた。

3 80日間

1月11日午後8時、27名参加のうち20名ほどがパソコン画面を通して集まった。私も含めてほとんどが、初顔合わせ。初日の講習が始まった。事前に真新しいノート一冊と鉛筆、赤ペンの用意をお願いした。私の方から簡単なオリエンテーションを行い、初日の講習に入った。「・一はAから・はE」までの符号を繰り返し打っては取ってもらうという練習を行って。次の日は「F~J」というように5つずつ。少し増えたところで、習った全ての文字について、復習。みんな頭を混乱させながら、練習に励んだ。毎日の講習は、全てネット上に置き、復習に活用してもらった。



2022年 J A R L 渡島橋山支部ZOOMモース講習会

| 回数 | 日付 | 第一部 | 第二部 | 備考 |
|----|----------|-----|-----|-------------------|
| 1 | 1月11日火曜日 | Q | Q | A~E 第1部、第2部 8 WPM |
| 2 | 1月12日水曜日 | Q | Q | F~J |
| 3 | 1月13日木曜日 | Q | Q | A~J |
| 4 | 1月14日金曜日 | Q | Q | K~O |
| 5 | 1月15日土曜日 | Q | Q | P~T |
| 6 | 1月16日日曜日 | Q | Q | K~T |
| 7 | 1月17日月曜日 | Q | Q | U~Z |
| 8 | 1月18日火曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |
| 9 | 1月19日水曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |
| 10 | 1月20日木曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |
| 11 | 1月21日金曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |
| 12 | 1月22日土曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |
| 13 | 1月23日日曜日 | Q | なし | A~Z 5秒空け |
| 14 | 1月24日月曜日 | Q | Q | A~Z 5秒空け |

復習サイト <http://www.edu-hakodate.jp/sasaki/jh8cbh/2022cw/>

週末には、コーヒータイトムとして、参加者の自己紹介をして、少しずつ、緊張の糸もほどけてきた。

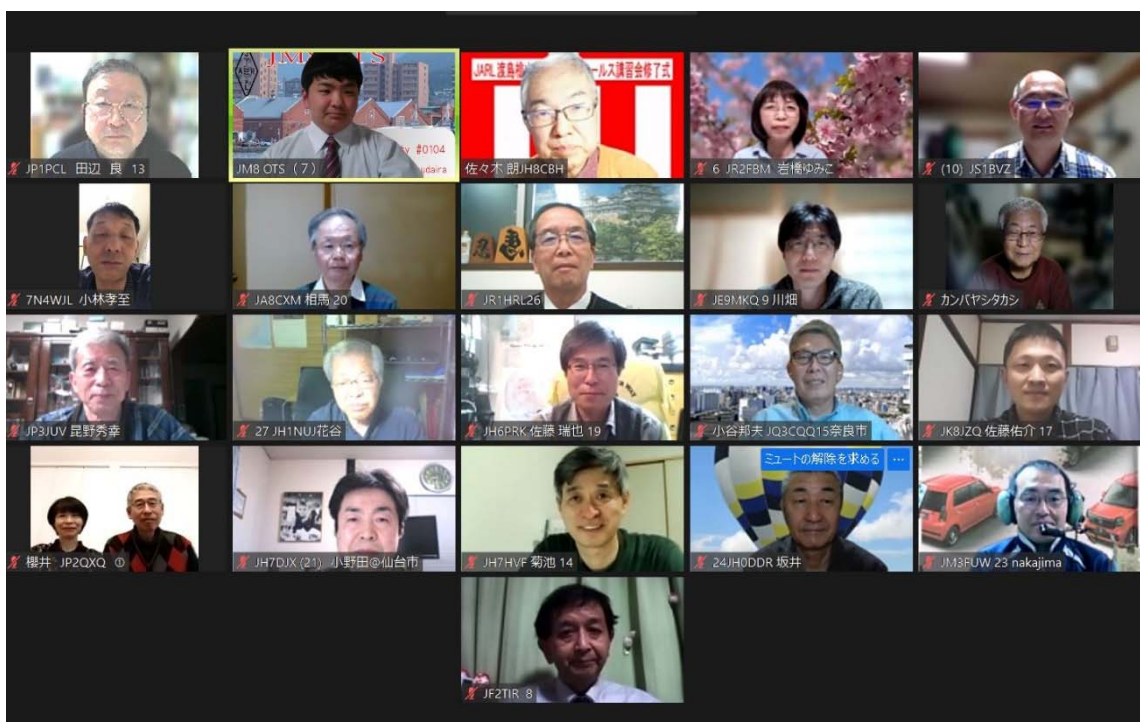
個人の学習進度を確かめるために、5分程度の個人面談の機会を設け、それぞれの持っている課題や悩みを伺いつつ、指導計画に反映させていった。

受講生であって、支部の役員を務めてくれた松平真一(JM8OTS)さんが毎日出席をとってくれた後、第1部基本編(約15分)、そして、第2部コールサイン練習編(約15分)という練習が、土日も含めて80日間続いた。

4 巣立ちの時

いつかヒナが巣立ちをするように、3月に入ると、受講生たちも、HFの世界に飛び込もうと羽ばたきしているのを感じることができるようになった。「そろそろだ。」巣立ちを迎えることができそうな受講生へ、必要に応じてZOOM上での模擬交信などを経験して、いよいよ7メガへのデビューの日を設定した。私のゆっくりゆっくり打つCQに対して、コールサインとレポート、JCC、名前を送るといった短縮のラバースタンプQSOである。応答してくれるその符号を聞いただけで、私までドキドキ感が伝わってくる感じである。全てひな形通りであるが、交信を終え、トトツーツで、交信を終了した時、安堵の表情が手に取るように分かった。こうして、半数以上の方が7メガデビューを果たすことができた。私のログには7MHz/CWの記録がしっかりと残った。

3月31日、講習を少し早く切り上げての修了式。事前に送り、開封しないでとっておいてもらった修了証の裏には、一人ひとりへ努力への労いの言葉を綴った。



ZOOMモールズ講習会修了式の様子

また、受講生一人ひとりから、今後の抱負を述べてもらった。笑顔があり、涙ありの修了式となった。

5 受講者の声

佐野吉章(JK1TVR)さん～佐々木先生、松平さん、3ヶ月間休みなく時間を割いていただき誠にありがとうございました。お陰様で、なんとなくCWデビューができました。仕事の都合で、なかなか出席できませんでしたが、CWデビューのきっかけを作って頂くと共に、講習生の皆様とのつながりも作って頂き、とても良い経験を与えて頂きました。今後の願望として、上級ハムを目指したいと思います。岩橋由美子(JR2FBM)さん～3ヶ月もの間、お休みなく講習会を開催して頂き有難うございました。最初はコールサインを一つも取れなくて辛かったのですが、段々聞き取れるようになり毎晩8時が来



修了証(この裏にメッセージを書いた)

るのを楽しみにしておりました。このような機会を与えて下さったことに深く感謝致

します。CW だけでなく考え方や価値観等を教えて下さったと思います。佐々木先生、松平さん、そして支部の皆さまに心から感謝申し上げます。また、渡島檜山支部の発展をお祈り申し上げます。

他たくさんいただいたメッセージは私の宝物となっている。

6 最後に

80 日間、皆勤賞の方、ほとんど無欠席の方も多くいた。パソコン画面上ではあるが、苦労を共にした仲間には、しっかりと友情が芽生え、絆ができたことは確かである。

講師としては、受講生たちのますますのスキルアップと、また次の世代へこのモールス通信の楽しさを広げてもらいた

いと期待でいっぱいである。

この3カ月で受講生からたくさんのエネルギーをいただき、努力することの大切さを改めて感じた。私にとっても学ぶことが多く、アマチュア無線への情熱をより高めることにもなった。また、やり切った自分を少し褒めてあげたい気持ちもある。

「来年もやるのですか？」という質問には、自分自身いまだに答えを出せないでいる。毎晩、8時はシャックからモールスという生活は、ちょつときつかったと思うこともある。具合が悪くて、どうしようかという日もあった。が、何とか乗り切った。でも、『ぜひモールスの勉強をやりたい。』という声があったとしたら無にしくはないという思いはある。